



2024-25年度 第2650地区スローガン

持続可能なロータリーに！共に学び、共に行動

Make Rotary Sustainable ! Learn together Act together

会長	池木 啓仁
副会長	中井 謙之
幹事	丸野 正徳
会報・資料委員長	杉村 喜之

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール

事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第10回(通算3009回)2024年(令和6年)10月1日号

本日の例会(10月1日)

第1回クラブフォーラム（クラブ奉仕）

次回の例会(10月8日)

尾花座物語

奈良RC 中野聖子 様

9月17日の例会報告

会長の時間

9月も半ばを過ぎたとはいえ、まだまだ日中は猛暑日が続いております。奈良の気象台の予報によりますと、若干の上下はあるものの、この暑さは10月上旬まで続くという予報が出ております。くれぐれも熱中症にはお気をつけください。

今年7月に新たに新札が発行されました。中でも一万円札の顔となった日本資本主義の父と言われる渋沢栄一氏については、『論語と算盤』があまりにも有名です。ロータリアンとしての規範に値するかもしれない部分についてご紹介いたします。

「金儲けを品の悪いことのように考えるのは根本的に間違っています。しかし、儲けることに熱中し過ぎると品が悪くなるのも確かであり、金儲けにも品を忘れぬようにしたい。

夢なき者は理想なし。理想なき者は信念なし。信念なきものは計画なし。計画なき者は実行なし。実行なきものは成果なし。成果なき者は幸福なし。ゆえに幸福を求める者は、夢なかるべからず。穏やかにさせるには思いやりを持つことが大切である。一切の私心を挟まず物事に当たり、人に接するならば、心は穏やかで余裕を持つことができるのだ。人は死ぬまで同じことをするものではない。理想に従って生きるのがすばらしいことである。目的には理想が伴わなければならない。その理想を実現するのがその務めである」とおっしゃっています。

なかなかこのようにいかないのが人の人生だと思いますが、それでもこうありたいと願いながら、人生を送りたいものだと思った次第です。

幹事報告

◎ロータリー記念奨学会より、第93回米山功労クラブとして感謝状を頂いております。回覧して皆様にご披露させていただきます。

◎クールビズの件

例年は10月1日から、例会時はネクタイ・ジャケット

着用しております。しかし、本年度は残暑なお厳しいこともあり、会員の皆様が体調を崩されぬよう、本年度に限り11月10日の家族例会よりネクタイ・ジャケットの着用をお願い申し上げます。

◎第4回定例理事会のご案内

10月1日(火)11時30分より4階会議室

ゲスト

夏木志朋様(小説家 卓話講師)

みやなおこ様(俳優)

誕生日祝

山本忠行会員(9月17日) 廣橋健次郎会員(9月21日)

耕岡 進会員(9月25日) 森田康宏会員(9月27日)

中川和久会員(9月28日) 吉井英一郎会員(9月29日)

河村憲一会員(9月30日) 松村實昭会員(9月30日)

創業記念日祝

堀内邦郎会員(9月20日) 林 輝一会員(9月21日)

甲村侑男会員(9月22日) 丸野正徳会員(9月26日)

委員会報告及びその他報告

○親睦委員会 桑 雅宣委員長

11月10日(日)の親睦家族会の受付は一旦締め切り、10月第1、第2例会で集金させていただきます。第2部につきましては、もしご都合がつきそうであれば、10月末までにお声がけください。

○広陵地区情報集会 白井健雄世話人

10月1日(火)、情報集会をヴェルデ辻甚で行いますので、ご出席の程よろしくお願ひいたします。

○社会奉仕委員会 吉岡弘修委員長

本日例会終了後、第1回社会奉仕委員会を開催いたしますので、委員の方はお集まりください。

○葛城・當麻地区情報集会 川中教正世話人

10月22日(火)午後6時より、ヴェルデ辻甚で情報集会を開催いたします。ぜひご出席ください。

○香芝地区情報集会 垣本喜己世話人

本日、香芝地区情報集会を17時から卯の庵で開催させていただきます。

ニコニコ箱

・先週の新庄地区情報集会では、大変お世話になり、また、いろいろとアドバイスをいただき、ありがとうございました。

池木啓仁会員

・夏木様をお迎えして。

中井謙之会員

・夏木志朋様、みやなおこ様、ようこそ当クラブへ。

卓話楽しみにしております。

丸野正徳会員

・輪音の発表会で皆様にお世話になりました。

中堀克己会員

・夏木様ようこそ大和高田RCへ。卓話楽しみにしています。

木下庄司会員

・昨日の大坂のホールでのロータリー合唱クラブ(輪音)

の発表会、満員で立ち見席もいっぱい。よかつたよかったです。

杉垣輝樹会員

4つのテスト【言行はこれに照らしてから】

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

・コール輪音の先輩方、昨日はありがとうございました。本日、誕生を迎えるました。ありがとうございました。

山本忠行会員

・新庄地区情報集会、会長、役員の方、お世話になりました。

山田幸雄会員

・新庄地区情報集会には清水さん、ありがとうございました。

布施隆教会員

・人生最後の誕生日祝いを頂いて。感謝です。

枠岡 進会員

卓話 小説家 第9回ポプラ社小説新人賞受賞



夏木志朋 様

俳優 みやなおこ 様

鵜山 夏木さんは1989年大阪生まれ、2016年から大阪文学学校に通い、19年に第9回ポプラ社小説新人賞を受賞されました。今から夏木さんの叔母に当たる俳優のみやなおこさんに作品を朗読していただきます。

夏木 この作品はアンソロジーの出版物に寄稿した短編の一稿です。単行本としては2作目となります。

みや タイトル『ファン・アート』作 夏木志朋
(朗読)

鵜山 私は古い昭和の人間なので、若い人のことは知らないことが多いですが、この作品はどんな作品なんですか。

夏木 デビュー作の『ニキ』は、文庫化に際して『二木先生』とタイトルに変えさせていただきました。文庫本で累計15万部ぐらい買っていたのであります。デビュー作は高校生の男の子が主人公でしたので、今回も登場人物が10代の子の青春小説を書いてほしいと依頼されました。「真夜中×うそ」というテーマでアンソロジーを出すという企画でした。

この主人公は、ユーチューバーでゲーム実況をしている男の子という設定です。私も聞いたこともないような単語が多いのにびっくりしました。今の若い子はやっぱりこういう感じなんですね。

鵜山 私も分からぬなりに何回も読んで、これが劇になつたらどうなるのかなと思ったらしておきました。夏木さんの学生時代のことをちょっとお聞きしたいなと思うんですけども。大阪市立第二工芸高校を卒業されていますが、どんなことをされていたんですか。

夏木 私はデザイン科で美術を重点的に学んでいました。定時制高校だったので、どちらかというと、昼間頑張って働きながら高卒の資格を取る勤労学生といった子が多くだったので、みんなそんなに美術系に興味があるとは限らなかつた印象ですね。

鵜山 小さい頃から本が物すごくお好きだったというのをみやさんからお聞きしたんですけども、その頃から書いてみたいなどいうお気持ちはあつたんですか。

夏木 好きでしたけれども、自分が書きたいということはなかったですね。そんなおそれ多いみたいな。

みや うちの実家が、ロシア文学全集とかをすごく読んでいる家庭で、家に本があふれていたんですね。親が本を買うことに関してはお金にいとめをつけなかつたですし、この子たちが子どものときの遊び場は本屋さんか図書館でしたから。高校でも図書室で本を借りまくっていたと聞いています。

夏木 親が三姉妹で三者三様、本の好みがばらばらだったので、親の本棚を読んでいると乱読の傾向があつたんですね。それが今となっては良かったのかなという感じがします。

みや 漫画、心理学系、シェークスピアから太宰治まで。あなたが一番好きだったのが中島らもさん。小学校のときから読んでなかつた?

夏木 出会いは小6でしたかね。

鵜山 みやさんは、らもさんと芝居をしていた、わかぎゑふさんと親しいですよね。

みや 舞台にもよく出していただいたので、そういうつながりはありますね。でも、小学生の子の本棚に中島らもが並んでいるのを見たときにはちょっとびっくりしましたけれどもね。

鵜山 高校を卒業されて、2016年から大阪文学学校へ通い始められたんですね。そこで本格的に文学とか表現していくことを学び始められたと。

夏木 はい。30人ぐらいのクラスで、半年に一度ぐらい自分の番が回ってきて、小説を発表して、クラスの方に評価してもらうということの繰り返しでした。

みや 結構ハードだと聞いたんですが。課題が多いんですか。

夏木 小説家養成講座というのは、講師の方を招いてというところが多いのですけれども、大阪文学学校は実作重視で、とにかく書いて出させるという形で、それが私に合っていました。合評では皆さん忌憚のない意見を言われるので、最初はすごく怖いと思つたんですけど、結構ためになりました。

みや そのときに書いた初めての作品が『ニキ』。

夏木 文学学校を卒業した後に仕上げて、賞に送りました。

鵜山 じゃあ、賞とかに近いところにある学校なんですね。

夏木 もしお知り合いで小説家を目指している方がいらしたら、お勧めします。

鵜山 卒業後に小説をプラスアップするときにはまだ編集者さんとかはついてないんですよね。

夏木 はい、自分でしました。今は、出版社ごとに担当者さんについていただいている。

鵜山 出版社と作家の関係を教えていただきたいんですけども、編集者はどういう立ち位置でおられるんですかね。

夏木 それがデビュー前に想像していたのと最も違つたことです。漫画家とはかなり違います。文芸では作家を囲い込まないので、編集者が作家を育てて、二人三脚で熱血指導ということはありません。作家さんが自分で育たなければいけないです。

鵜山 編集者と作家は夫婦関係よりも密接な関係というイメージがあつたんですけども。

夏木 それは新人になって一番最初に陥る勘違いなんだそうです。編集者さんを自分の恋人のように私物化してしまうというか。

鵜山 あこがれの作家さんはいらっしゃいますか。

夏木 私のあこがれはスティーヴン・キングですね。

みや 涩いですね。「おいくつ?」って言うぐらい。

鵜山 どこに惹かれているんですか。

夏木 スティーヴン・キングは軸足がエンタメにあります、人間の造形も踏み込んでいて、純文とエンタメのバランスの配分が好きで憧れます。私のこれから活動としても、そういう方向を模索していくべきだと思います。

出席報告	会員 総数	出席 義務 会員 会員 出席数	義務 会員 出席数	義務 会員 欠席数	義務 会員 MU	出席 免除 会員 会員 出席数	免除 会員 出席数	免除 会員 MU	出席率
9月17日	91	58	48(0)	10	3	33	26	0	91.67%
9月10日	91	58	51(0)	7	0	33	26	0	91.67%
9月3日	91	58	52(0)	6	4	33	26	0	97.62%

()内の数字はWEB出席者数内訳